学校番号	４１４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ（理系）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　数学Ｃ　（数研出版）						
副教材等	新課程　クリアー数学Ⅲ＋Ｃ　（数研出版）、 新課程　チャート式　解法と演習 Ⅲ＋Ｃ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数学ＩⅡＡＢの内容を理解している前提で授業が進みます。よく復習しておいてください。
・授業中に扱う課題は、まずは１人でよく考えて取り組みましょう。
　さらに、自分の考えたことや理解したことを他人に説明することで理解が定着します。
・公式を覚えるだけでなく、「公式の意味」や、「なぜこの公式が成り立つのか」を考えましょう。
・ノートは答えだけを書くのではなく、途中式や考え方のポイント等を必ず書くようにしましょう。解いた後は必ず答え合わせをし、自分がつまずいたところの確認を行うようにしましょう。
・数学ＩＡⅡＢよりも難易度が高いです。授業でわからないことがあれば、その日に先生に質問するよう心がけてください。わからないところを放置しないこと。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を習得する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・ベクトル，平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面ベクトル	1 ベクトルとその演算 2 ベクトルと平面図形	a:平面上のベクトルの意味，相等，和，差，実数倍，位置ベクトル，ベクトルの成分表示、内積など基本的な性質について理解している。 b:実数などの演算の法則と関連付けて，ベクトルの演算法則を考察することができる。 c: 事象を平面ベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
	空間ベクトル	3 空間のベクトル	a: 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できること を理解している。 b: ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて，平面図形や空間図形の性質を見いだしたり，多面的に考察したりすることができる。 c: 事象を空間ベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト

2学期	複素数平面	1 複素数平面 2 複素数の極形式 3 ド･モアブルの定理 4 複素数と図形	a: 複素数平面と複素数の極形式，複素数の実数倍，和，差，積及び商の図形的な意味、ド・モアブルの定理を理解している。 b: 複素数平面における図形の移動などと関連付けて，複素数の演算や累乗根などの意味を考察することができる。 c: 複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
	式と曲線	1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線の性質 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式	a: 放物線，楕円，双曲線が二次式で表されること及びそれらの二次曲線の基本的な性質、曲線の媒介変数表示、極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることについてについて理解している。 b: 放物線，楕円，双曲線を相互に関連付けて捉え，考察することができる。 c: 事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト
3学期	複素数、式と曲線・ベクトル	数学C総合演習	a: 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。 b:数学Cで学んだことを統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 c: 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようしたりしている。	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・定期考査	ノートやワークシートの記述・確認テスト

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度